

認定 NPO 法人キッズドア 中学生の部活動と地域展開に関する調査結果報告

2026 年 5 月 認定 NPO 法人キッズドア

目次

認定 NPO 法人キッズドア 中学生の部活動と地域展開に関する調査結果報告.....	1
1. 部活動の地域展開と困窮子育て家庭への影響.....	2
2. 調査概要.....	2
3. 調査結果まとめ.....	3
4. 調査結果.....	4
4.1 回答者の基本属性.....	4
4.2 中学生の部活動.....	8
4.2.1 部活動の加入状況.....	8
4.2.2 部活動の費用.....	10
4.2.3 部活動の地域移行（地域展開）.....	11

社会を良くするたしかな一歩

この事業は中央共同募金会「赤い羽根福祉基金」の助成を受け実施しています。



赤い羽根
福祉基金

1. 部活動の地域展開と困窮子育て家庭への影響

急速な少子化に歯止めがかからない中、将来にわたって子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保すべく、国や自治体では、これまで学校単位で行われていた部活動を地域に開き、地域全体で支えていく「地域展開」を主軸として、部活動改革を進めている。

令和5年度～7年度は「改革推進期間」と位置づけられ、実証事業を通して、地域展開後の部活動の担い手である「地域クラブ活動」の運営モデルが形成されるとともに、運営団体の整備、指導者の確保、活動場所及び移動手段、生徒の安全・安心、障害のある子どもの活動機会、子どものニーズの反映等の課題と、その対応方策も明らかとなった。これを受けて、令和8年度からは6年間の「改革実行期間」が始まり、原則、休日のすべての学校部活動の地域展開を実現することが目標として掲げられている。

多くの困窮子育て家庭では、経済的な理由から、意欲や能力があったとしても、体験活動や習い事の機会を十分に確保することができていない。そのため、学校活動の一環であり、一般の習い事に比べれば経済的な負担も少ない部活動は、スポーツや文化芸術に触れる貴重な機会となっている。また、塾や習い事に通えない子どもが、大人によってゆるやかに見守られながら過ごすことのできる放課後の居場所としての役割も果たしている。

部活動が地域クラブ活動へと移行した場合に、参加費やユニフォーム・道具の購入費用、交通費、大会参加費等の費用負担が増加すれば、困窮家庭では、費用を捻出できず、部活動をすることが難しくなってしまう。また、活動場所への送迎や活動の見守り等の保護者の関わりが必要となれば、家計のために必死で働く保護者に時間を捻出する余裕はなく、子どもが部活動を諦めなければならない事態も考えられる。部活動を続けることができなくなった子どもたちが放課後の居場所を失ってしまうことを心配する保護者の声も寄せられている。

今後、部活動の地域展開等が本格化すると予想されるが、キッズドアでは、困窮家庭の子どもが置き去りになってしまうことを強く懸念している。本調査は、困窮子育て家庭における部活動の実態や地域展開への考え方を把握し、部活動や地域展開に必要な支援を検討する示唆を得るべく実施した。

2. 調査概要

- 目的：中学生の部活動について実態を把握することで、困窮子育て家庭の抱える課題を明らかにし、必要な支援を検討するための示唆を得ること。
- 対象：キッズドア・ファミリーサポート登録世帯
- 調査期間：2025年10月31日～2025年11月10日
- 回答数：中学生のいる家庭738件、小学生または中学生のいる家庭1,392件
※部活動の加入状況、部活動の費用、地域移行（地域展開）の現状の項目については中学生のいる家庭が対象、地域移行（地域展開）に対する考えの項目については小学生または中学生のいる家庭が対象。

●キッズドア・ファミリーサポートとは？ <https://kidsdoor-family-support.jp/>

「キッズドア・ファミリーサポート」は2020年にコロナ禍に対する緊急支援という形で発足。

現在では、困窮子育て家庭の保護者を対象に、困窮から抜け出すための物資・情報・就労支援を行っている。

3. 調査結果まとめ

調査の結果、部活動には部費以外にも様々な費用がかかり、月数千円程度の部活動費用が家計の負担となっている、多くの保護者が地域展開によって体験格差が拡大すると考えている、地域展開による費用負担の増加や時間の捻出が大きな懸念事項となっているといった実態が明らかとなった。調査結果のポイントは以下のとおり。

- 中学生の部活動の加入状況は、「運動部」が約半数、「文化部」が約2割、「部活動をしていない」が約3割。所得の低いグループほど「部活動をしていない」との回答割合が高く、「所得300万円以上」の17%に対して「所得100万円未満」では39%となっている（「部活動をしていない」には、中学3年生で、すでに引退したケースが一定数含まれる）。（図12、図13）
- 部活動費用は年間5万円未満が約7割だが、部活動費用が家計にとって負担であると考える家庭が8割を超える。（部活動費用は、部費、ユニフォーム、道具、交通費、大会参加費、保険料、飲料・補食など、部活動にかかる全ての費用を含む）。（図15、図16、図17）
- 地域移行（地域展開）しているとの回答は約2割、そのうち8割は地域移行（地域展開）によって費用や送迎等の家庭の負担が増加したと考えている。（図18、図20）
- 小中学生の子どもがいる回答者の約9割が地域移行（地域展開）によって体験格差が拡大していくと考えている。（図22）
- 地域移行（地域展開）に関する困りごとや心配としては、「活動場所までの送迎が必要になること」（71%）、「部費が高くなること」（67%）、「活動場所までの交通費が高くなること」（64%）、「指定のユニフォームや道具などの購入が必要になること」（61%）が多い。「保護者の運営への関わりが増えること（指導や見守りなど）」も半数超が選択した。（図23）
- 部活動や地域移行（地域展開）に関する困りごととして様々な声も寄せられた（以下、一部抜粋）。
 - ✓ 生活が厳しく習い事ですら制限している子がたくさんいる現状をまず知って欲しい。学校での部活動は用具代程度の費用負担で済んでいたように思うが、地域に委託すると習い事のように毎月決まった金額がかかると思うと子供の意見だけ、やる気だけでは決められない。
 - ✓ 部活動が地域移行することは良いかと思いますが、金銭的に余裕があるご家庭とそうでないご家庭の差が大きくなってくのではないかと思います。金銭的な負担が重荷になる心配があります。
 - ✓ 我が家の地域では子供が中学に入学する頃には確実に部活が無くなるそうで、今現在野球をやっているがチームのユニフォーム、道具を借りてやっている状態です。地域移行となると練習自体も少なくなり学区外などに送迎になりますし、出費も多くなると予想しているので頑張っている野球を諦めさせなくてはいけないかもしれないと考えています。
 - ✓ 仕事で送迎が土日できないため、試合に連れて行けず、休ませています。参加させたいが仕事があり、送迎ができない。
 - ✓ とにかく交通費がとんでもなく負担。毎月万単位です。なぜか、自校ではなく他校ばかりなので。交通費にお弁当持参で、部活動の出費が多い。毎週末必ず、部活（大会や練習試合、合同練習）があるので部活用品の消耗も早く、その買い替え等も負担がかかってます。

4. 調査結果

4.1 回答者の基本属性

回答者のほとんどが「女性」であり、年齢は「40代」が半数超と最も多く、「30代」、「50代」が続く。居住地は東京都を含む「南関東」が約3割、「近畿」が約2割、そのほかに「九州・沖縄」・「東海」等、全国各地に広がっている。

世帯構成は「母子世帯（離婚調停中、別居中など含む）」が9割を占め、「ふたり親世帯」は1割未満である。生計を一にする家族の人数は「2人」や「3人」が多い。扶養している子どもの人数は「1人」や「2人」が多く、子ども3人以上との回答は、中学生のいる家庭で33%、小学生または中学生のいる家庭で26%であった。

2025年の世帯所得は、「100～200万円未満」が最も多く、所得200万円未満が半数超、所得300万円未満が8割超となっている。また、「貯金はない」との回答が約4割、貯金なしを含む貯蓄10万円未満が半数を超えた。「借入がある」との回答は約4割である。

受給している公的手当としては、就学援助が7割超と最も多く、「児童扶養手当（全部支給）」、「児童扶養手当（一部支給）」が続く。「生活保護」は1割未満となっている。

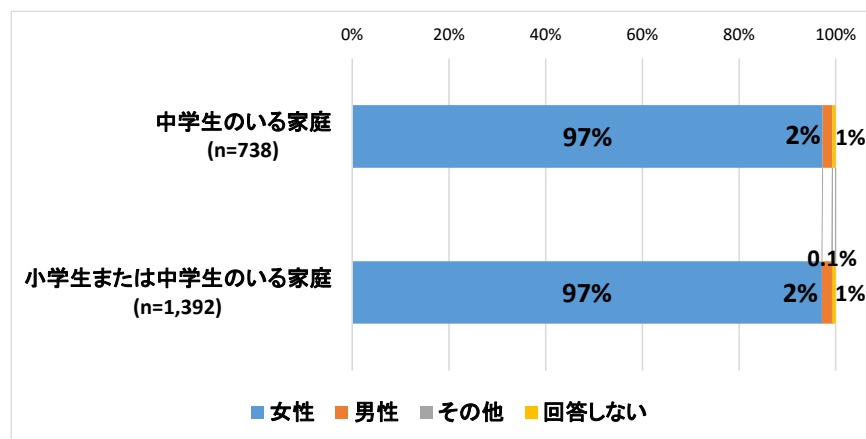


図 1 性別

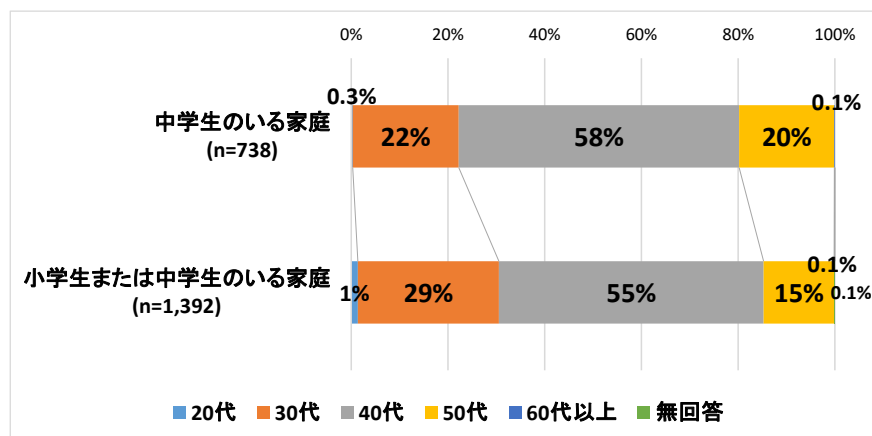


図 2 年齢

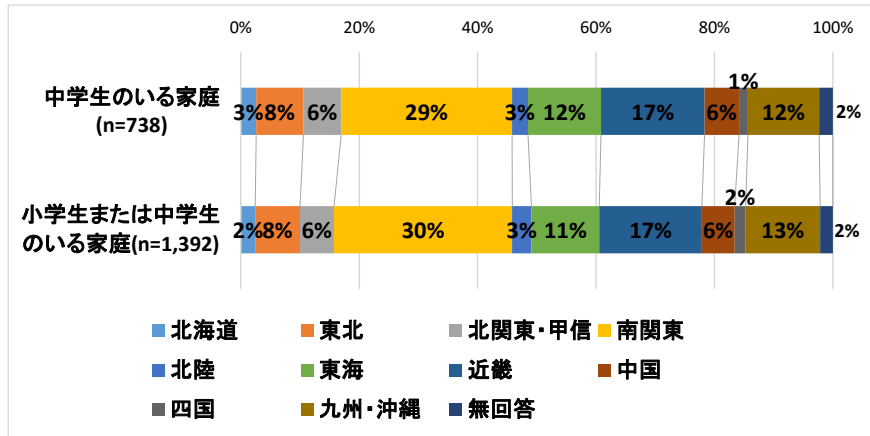


図 3 居住地

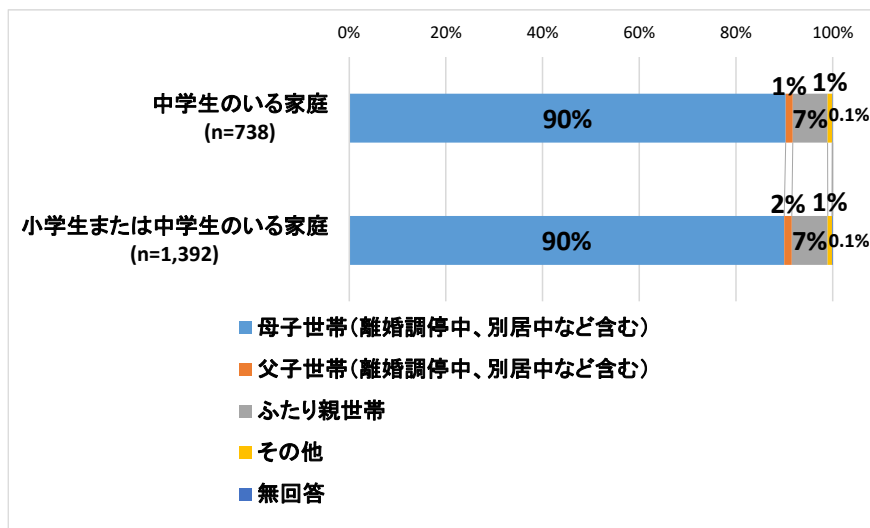


図 4 世帯構成

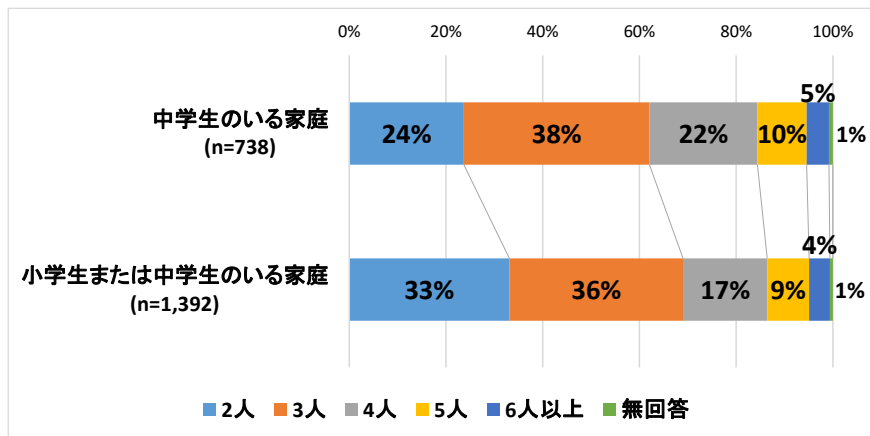


図 5 生計を一にする家族の人数 (回答者自身を含む)

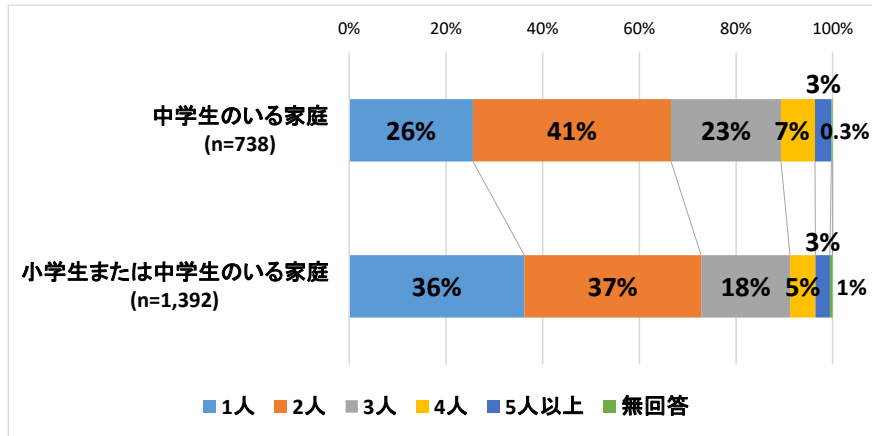


図 6 扶養している子どもの人数

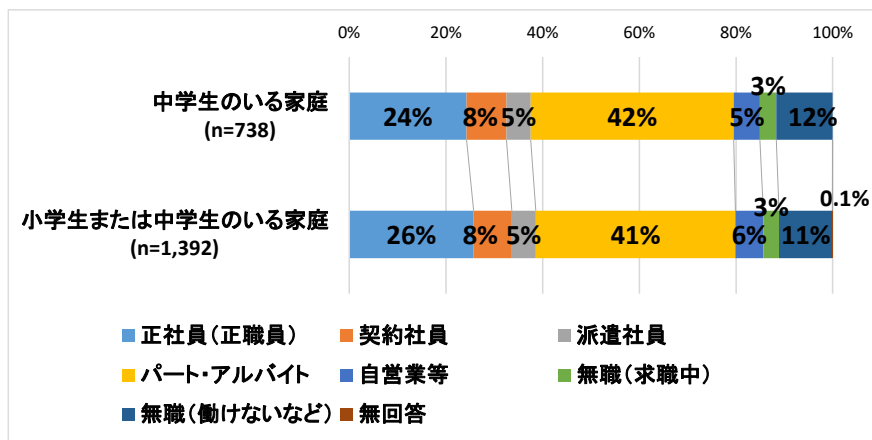


図 7 現在の就労形態

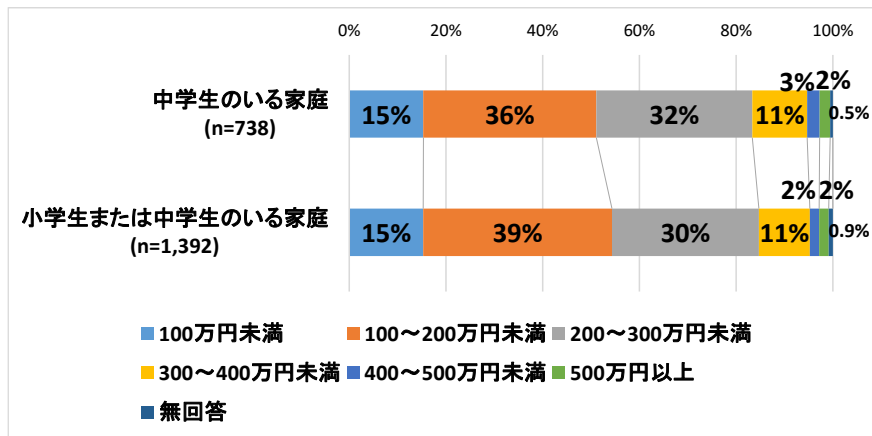


図 8 2025年の世帯所得(予想)

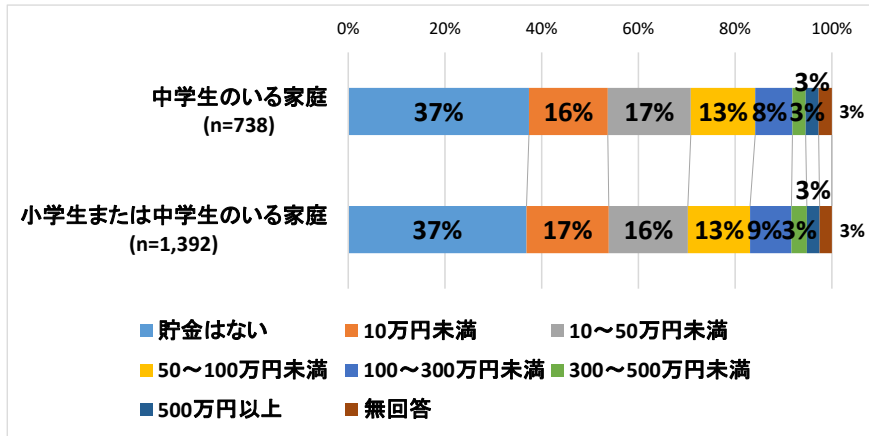


図 9 2025年10月時点の貯蓄額

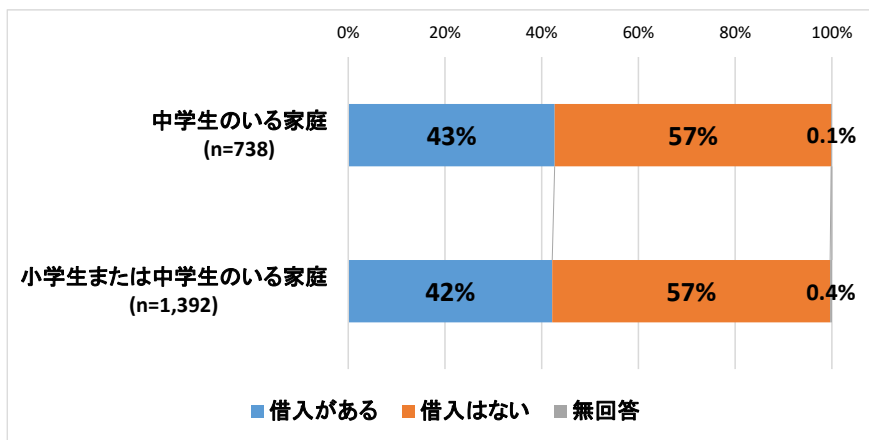


図 10 借入の状況

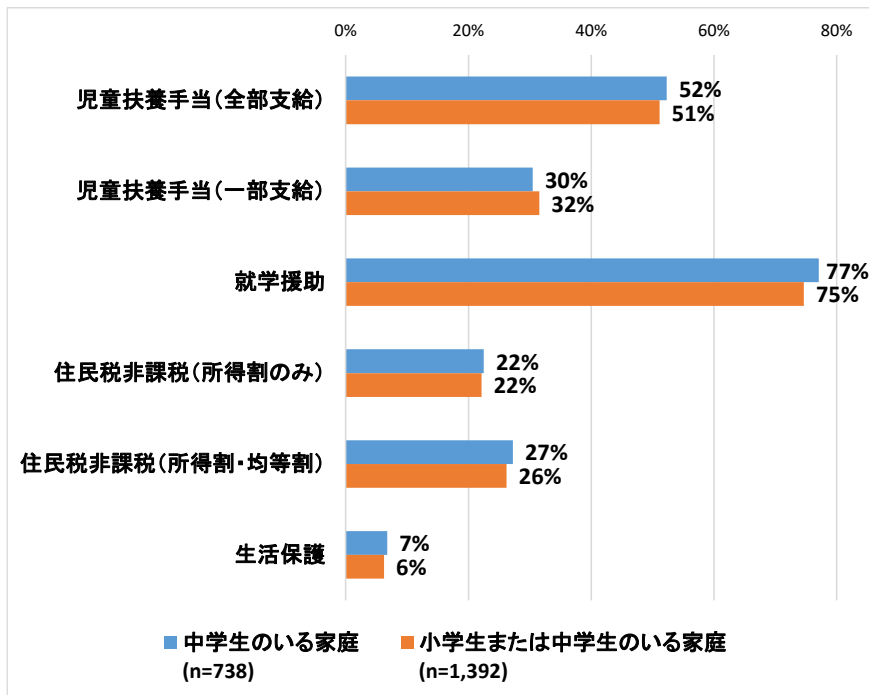


図 11 受給している公的手当 (複数回答)

4.2 中学生の部活動

4.2.1 部活動の加入状況

中学生の部活動への加入状況としては、「運動部」(51%)が約半数、「文化部」(22%)が約2割、「部活動をしていない」(29%)が約3割であった。なお、「部活動をしていない」には、中学3年生ですでに引退したケースが一定数含まれている。部活動の加入状況について世帯所得別に見ると、所得の低いグループほど「部活動をしていない」の割合が高く、「所得300万円以上」の17%に対し、「所得100万円未満」では39%となっていた。また、「運動部」の割合は「所得300万円以上」が所得300万円未満を上回る結果となっている。

「部活動をしていない」理由は、「毎月の部費、交通費、大会参加費などが払えないから」(30%)、「ユニフォームや道具の購入など部活動を始めるための費用が払えないから」(29%)、「興味のある部活動がないから」(27%)が、いずれも約3割であり、「塾など他の活動が忙しいから」は6%と少数であった。最も多かったのは「その他」であるが、このうち中学3年生ですでに引退した旨の回答が半数程度であり、そのほかに不登校との回答も複数見られた。

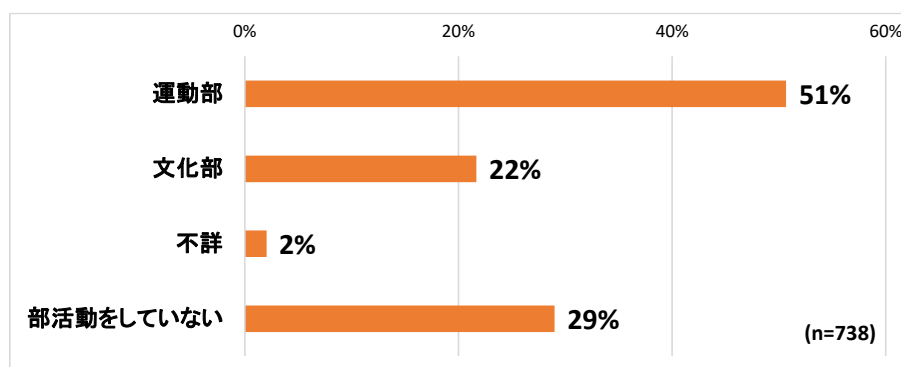


図12 部活動の加入状況（運動部と文化部の両方に所属する場合は複数回答）¹
(※「部活動をしていない」には、中学3年生で、すでに引退したケースが一定数含まれる。)

¹ 中学生の子どもがいる方が対象。

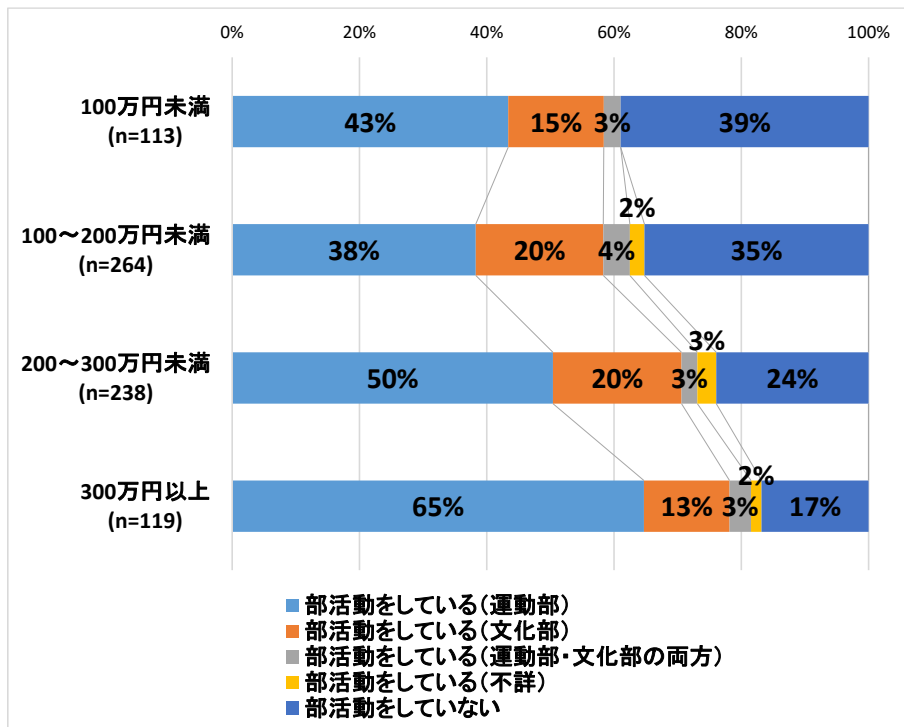


図 13 【世帯所得別】部活動の加入状況²

(※「部活動をしていない」には、中学3年生で、すでに引退したケースが一定数含まれる。)

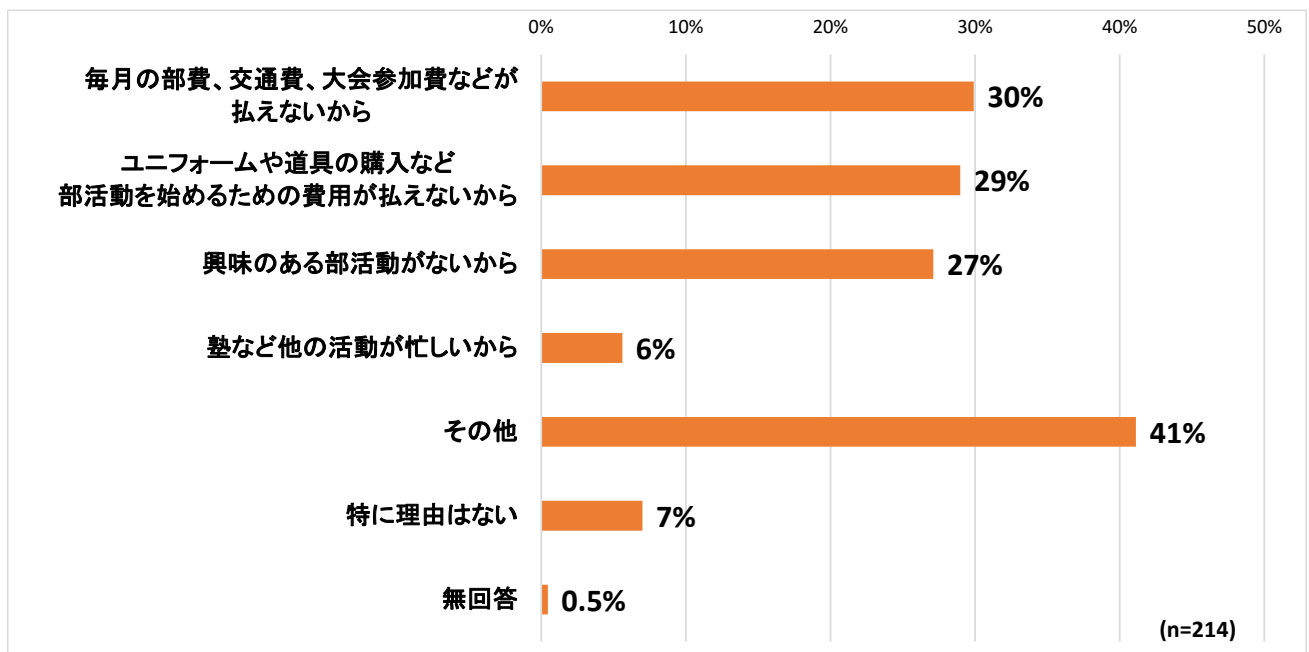


図 14 部活動をしていない理由（複数回答）³

(※「その他」には、中学3年生で、すでに引退したケースが一定数含まれる。)

² 中学生の子どもがいる方が対象。

³ 中学生の子どもがいる方のうち、「部活動をしていない」と回答した方が対象。

4.2.2 部活動の費用

中学生の部活動の年間費用（部費、ユニフォーム、道具、交通費、大会参加費、保険料、飲料・補食など、部活動にかかる全ての費用を含む）としては、「1～3万円未満」（25%）や「3～5万円未満」（21%）といった回答が多く、3万円未満が約半数、5万円未満が約7割を占める。

部活動の費用が家計にとって負担となっているかとの質問では、「とても負担である」が55%と最も多く、「まあ負担である」（28%）も合わせると、その割合は8割を超えた。

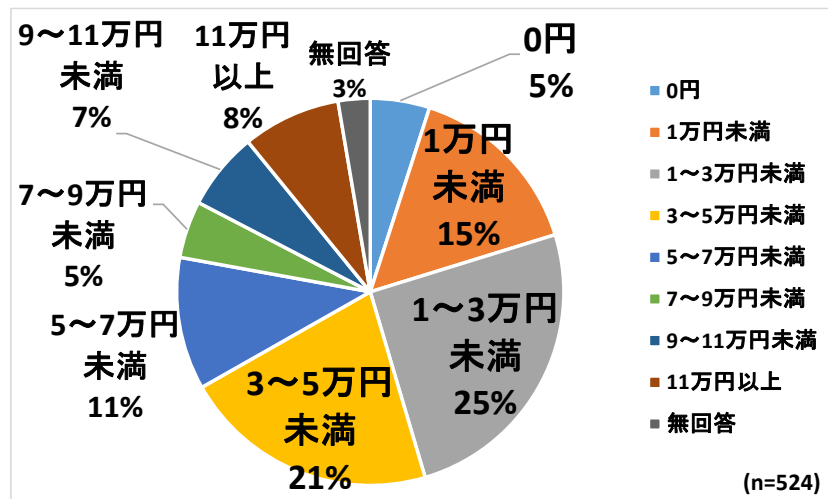


図 15 年間の部活動費用⁴

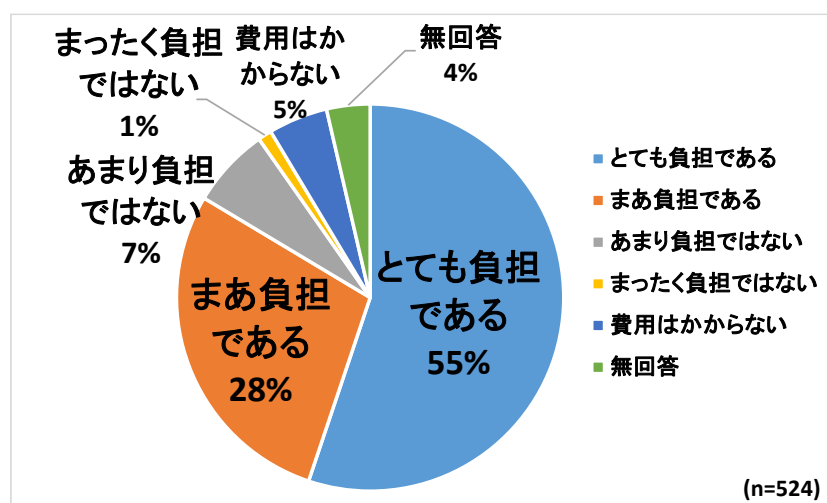


図 16 部活動の費用は家計にとって負担か⁵

⁴ 中学生の子どもがおり、そのうち少なくとも1人は部活動をしている方が対象（部活動をしている中学生の子どもが2人以上いる場合は、年長の子どもについて回答）。

⁵ 中学生の子どもがおり、そのうち少なくとも1人は部活動をしている方が対象（部活動をしている中学生の子どもが2人以上いる場合は、年長の子どもについて回答）。

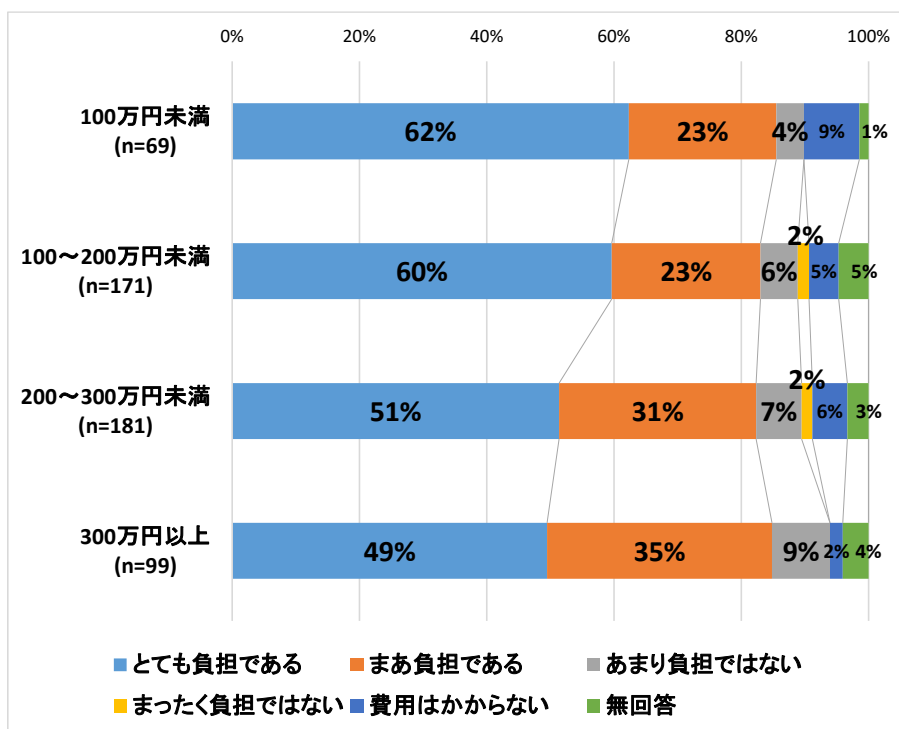


図 17 【世帯所得別】部活動の費用は家計にとって負担か⁶

4.2.3 部活動の地域移行（地域展開）

(1) 地域移行（地域展開）の現状

中学校の部活動の地域移行（地域展開）の状況として最も多かったのは、「移行していない」（71%）の約7割であり、移行しているとの回答は全体の約2割であった（「完全に移行している」（5%）と「部分的に移行している」（14%）の合計）。

移行しているとした回答者に、地域移行（地域展開）してよかったと感じることを尋ねたところ、「指導内容が向上・充実した」（26%）や「他校の生徒との交流が増えた」（24%）といった項目が多く挙げられたものの、最も多かったのは「特によかったと感じることはない」（45%）であった。

地域移行（地域展開）によって、活動費用や送迎の面で、家庭の負担は増加したかとの質問に対しては、「とてもそう思う」（58%）が約6割と最も多く、「まあそう思う」（22%）も合わせると、負担が増加したとの回答が8割を占めた。

⁶ 中学生の子どもがおり、そのうち少なくとも1人は部活動をしている方が対象（部活動をしている中学生の子どもが2人以上いる場合は、年長の子どもについて回答）。

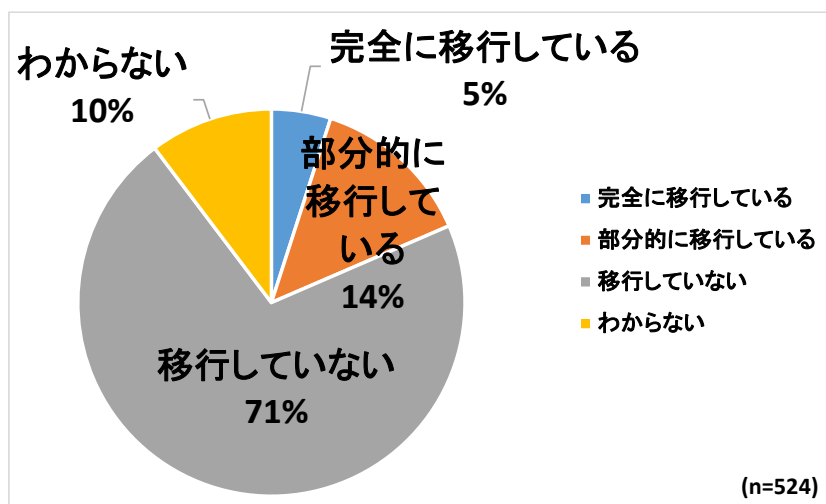


図 18 部活動の地域移行（地域展開）の状況⁷

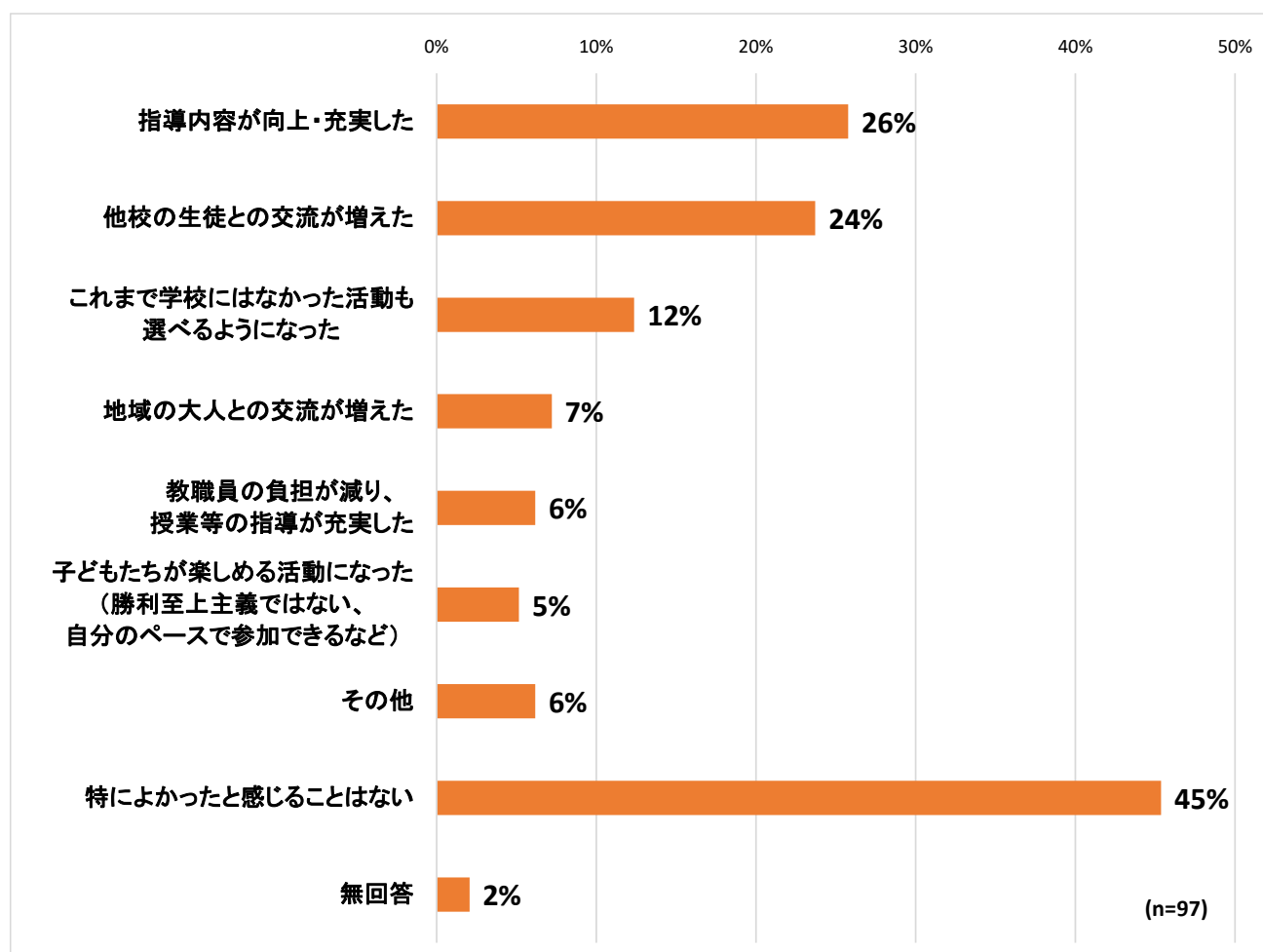


図 19 部活動が地域移行（地域展開）してよかったと感じること（複数回答）⁸

⁷ 中学生の子どもがおり、そのうち少なくとも1人は部活動をしている方が対象（部活動をしている中学生の子どもが2人以上いる場合は、年長の子どものみについて回答）。

⁸ 中学生の子どもがおり、そのうち少なくとも1人は部活動をしている、かつ地域移行（地域展開）について「完全に移行している」または「部分的に移行している」と回答した方が対象。

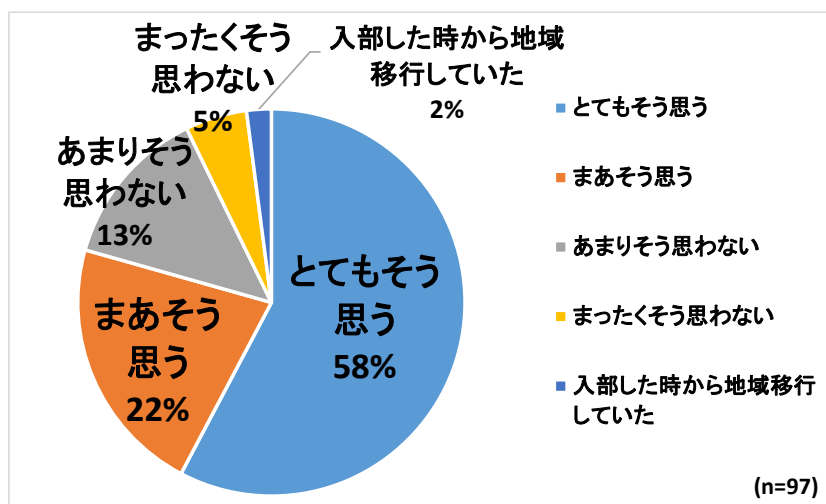


図 20 部活動が地域移行（地域展開）したことで家庭の負担は増加したか⁹

(2) 地域移行（地域展開）に対する考え

小学生・中学生の子どものいる回答者に地域移行（地域展開）に賛成かを尋ねたところ、肯定的な回答と否定的な回答が、ほぼ半数ずつとなった。一方で、地域移行（地域展開）によって体験格差は拡大していくかとの質問には、半数超が「とてもそう思う」（55%）と回答した。「まあそう思う」（34%）も合わせると、体験格差拡大につながると考える回答者が約9割を占めている。

部活動や地域移行（地域展開）に関する困りごととして寄せられた自由記述の回答の中には、教員の負担等を踏まえれば賛成だが不安もあるといった声があり、地域移行（地域展開）の必要性は理解しながらも負の影響を懸念している保護者が一定数いると推察される。

部活動の地域移行（地域展開）に関する具体的な困りごとや心配としては、「活動場所までの送迎が必要になること」（71%）が最も多く、「部費が高くなること」（67%）、「活動場所までの交通費が高くなること」（64%）が続いた。「指定のユニフォームや道具などの購入が必要になること」（61%）、「合宿など費用のかかるイベントが増えること」（56%）、「保護者の運営への関わりが増えること（指導や見守りなど）」（52%）も半数を超えた。経済的な苦しさに加え、仕事・家事・育児に追われ多忙な保護者にとって、費用と時間の捻出が懸念事項となっていることがうかがえる。「特に困っていることや不安なことはない」との回答は5%にとどまった。

部活動や地域移行（地域展開）に関する困りごとでは、地域移行（地域展開）に対する不安が数多く寄せられた。実際に移行した回答者からは、金銭的な負担が激増した、ひとり親なので送迎も大変で困っているといった状況が伝えられた。また、移行をした場合、費用や送迎の面で対応できない、保護者負担が多くなるといった理由から、子どもに部活動を諦めさせなくてはいけないのではと心配する声もあった。他にも、金銭的に余裕がある家庭とそうでない家庭の差の広がり、指導者の信頼性、子どもの帰宅時間、放課後の居場所がなくなることなど、様々な不安が寄せられた。

地域移行の有無に関わらず、現状の部活動で感じている困りごとも多い。部費、ユニフォームや道具の購入、交通費といった費用の問題は困窮家庭の家計に重くのしかかっている。金銭的に無理なので入部しない選択をさせると思う、普通の部活でも部費が値上がりして困っているといった声があり、部活動の費用に関する支援を求める回答も多く寄せられた。ユニフォームや道具については、購入費用の補助以外に

⁹ 中学生の子どもがおり、そのうち少なくとも1人は部活動をしている、かつ地域移行（地域展開）について「完全に移行している」または「部分的に移行している」と回答した方が対象。

も、卒業生からのお下がり、貸出といった対応があるとよいとの意見があった。送迎を含む保護者の負担では、車がないので部活動に参加させられない、土日は仕事で送迎ができないため試合を休ませる、保護者の手伝いが求められることが多いものの仕事や介護で他の家庭同様に参加することが難しいといった実態が伝えられた。

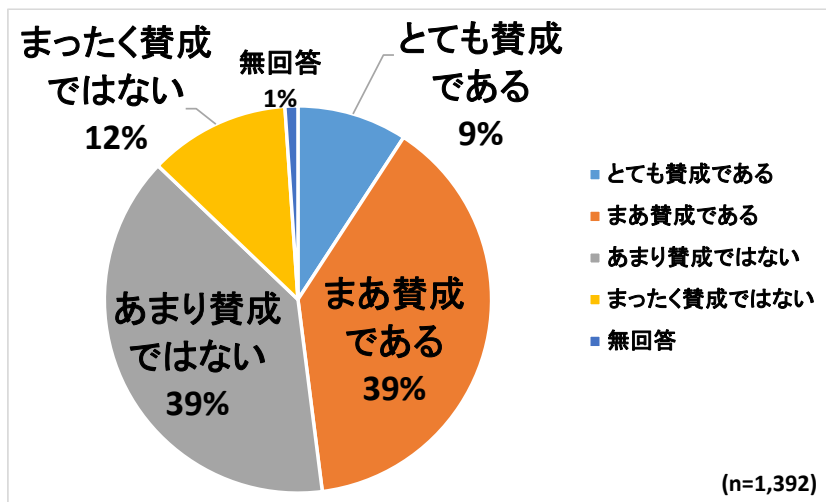


図 21 部活動の地域移行（地域展開）が進むことに賛成か¹⁰

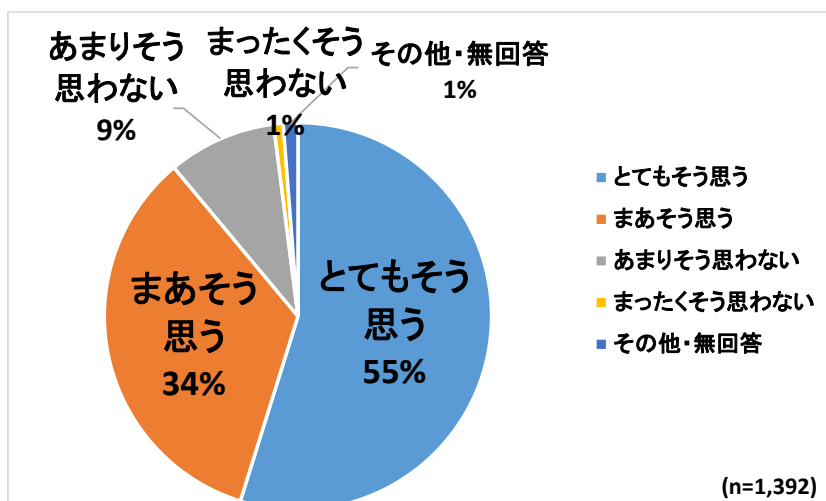


図 22 部活動の地域移行（地域展開）によって体験格差は拡大していくか¹¹

¹⁰ 小学生または中学生の子どもがいる方が対象。

¹¹ 小学生または中学生の子どもがいる方が対象。

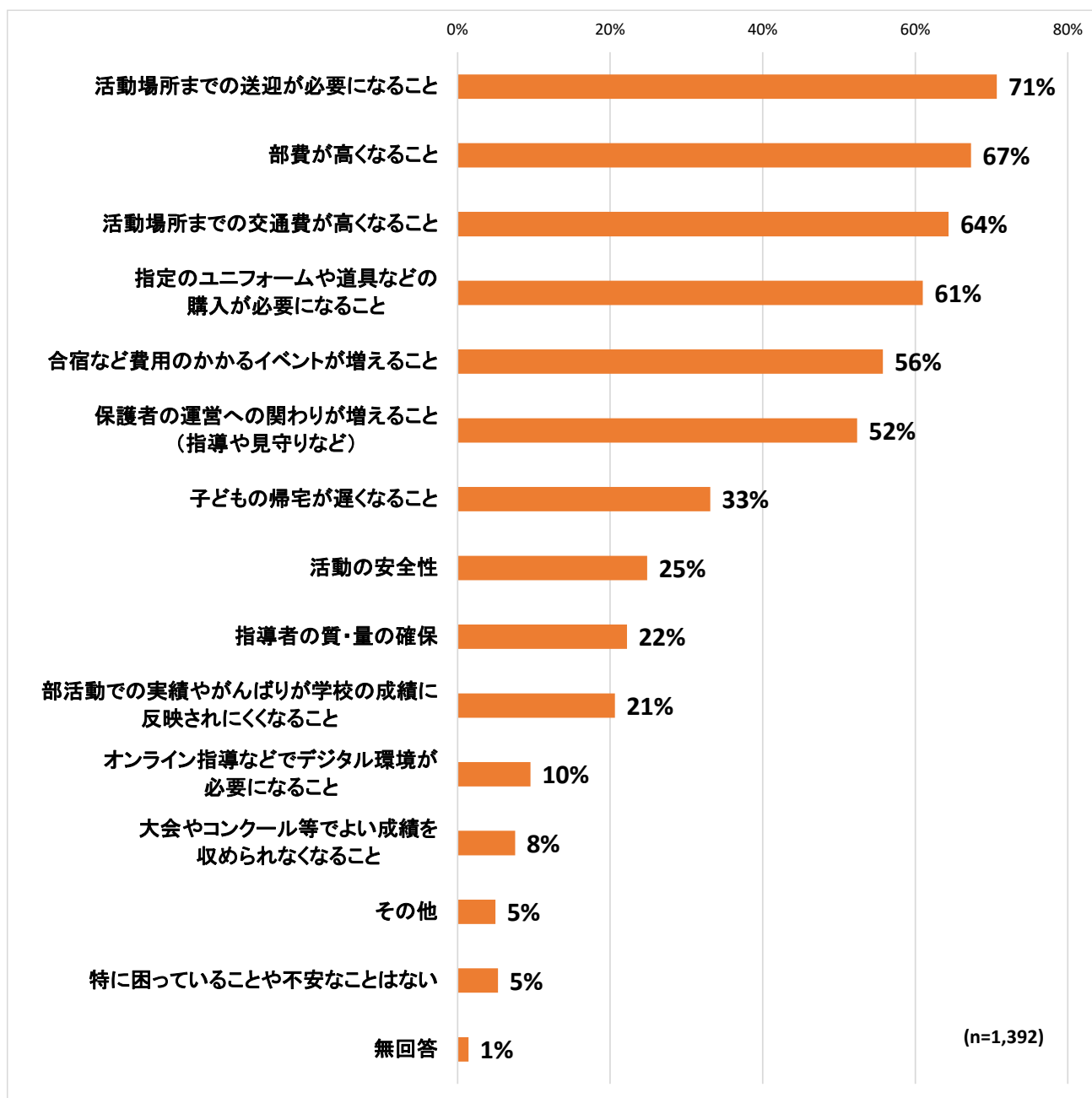


図 23 部活動の地域移行（地域展開）に関する困りごとや心配（複数回答）¹²

表 1 部活動や地域移行（地域展開）に関する困りごと
（自由記述、一部抜粋・引用者にて編集）

- **地域移行（地域展開）に対する肯定的な意見**
- ・ やりたい部活が近隣中学にないので、地域移行で近くでできるようになるなら望ましい。
 - ・ 地域移行は賛成です。娘の中学は女子サッカーがない為、他のサッカーチームへ自由に通えるのは有難いです。
 - ・ 部活動では顧問が未経験者なので、地域移行での本格的な指導をしてもらえることに、期待したいです。
 - ・ 今顧問の先生は、部活の経験がないのに指導をしていて、子どもは、上手くなりたいから教

¹² 小学生または中学生の子どもがいる方が対象。

えて欲しいけど先生が分からないからと言う事があるので、外部から経験のある方が指導に来て下さったら子どもも嬉しいだろうなど。

- ・ 学校の先生の負担を減らすことも必要だともうし、学校の先生の顧問やコーチではスキルの問題があったりもするので部活動に力を入れたい子には地域の専門性の高い方から教えてもらえるのは有り難いと思う。
- ・ 子供にはどちらでもメリットあると思います。先生の負担を減らすなら地域移行した方がいいと思います。
- ・ **先生の負担が大きいと感じているので、地域移行には賛成です。部活は学校生活の一部なので、部活は外部講師の方が学校にきて教えてくださるとありがたいと思います。**
- ・ まだ地域移行ではないのでわからないんですが、外部委託するとやはり費用も増えたり、保護者の当番があったりすると思います。そうなったら負担が増えるので気が重いです。学校の先生方の負担を減らしていく目的だとしたら、賛成ですし、時代にあっていると思います。
- ・ 子どもが所属している部活は、顧問の先生のがんばりで運営していて、先生の負担が大きすぎると心配している。そのため部活の時間がとても少なく、せっかく子どもはやる気になっているのに十分な活動時間が確保されていない気がする。そういう意味では地域の力、近隣校との連携などで顧問の負担を減らしつつ活動を充実させる工夫が必要と思う。

➤ 地域移行（地域展開）に対する不安、否定的な意見

- ・ **地域移行して金銭的な負担が激増です。でも習い事や放課後活動費の助成などあれば、自宅以外の居場所を積極的に見つけ知り合いが増え、個人も地域もお互いに嬉しいのかと思います。**
- ・ 息子は地域移行した民間クラブで全国大会にも出られるようにはなりましたが、その大会参加費、宿泊、移動費、コーチ帯同費用が大きいかさみ、母のパート代だけでは大変苦しい状況で、兄弟のアルバイト代を注ぎ込んでしまった。行政のスポーツ補助金は支給条件がかなり厳しく、手続き煩雑。この夏は17万円の出費に、補助金は一万円だけで辛かった。勝ち進んで全国大会決勝までいったのに…。
- ・ 移行に伴って辞めるのも可哀想なのでなんとかやっていますが、金銭的な負担も大きいし、ひとり親なので送迎も大変。運転が苦手なので他県への遠征も都会の高速は怖くて乗れないので本当に困ってます。クラブの保護者が気軽に試合終わりにご飯に行こうとみんなを誘うのもお金がないので内心本当に困ってます。
- ・ 部活がなくなることで、活動費や送迎等の家計の負担がかなりあり、困っている。子供がやりたいことを応援してあげたいけど、母子家庭にはかなり厳しいのが現実です。
- ・ 学校内での活動ではなくなるので、様々な費用が増えそうで、部活動を諦めさせないといけない可能性もあると思います。
- ・ **我が家の地域では子供が中学に入学する頃には確実に部活が無くなるそうで、今現在野球をやっているがチームのユニフォーム、道具を借りてやっている状態です。地域移行となると練習自体も少なくなり学区外などに送迎になりますし、出費も多くなると予想しているので頑張っている野球を諦めさせなくてはいけないかもしれないと考えています。**
- ・ **中学校の練習着などとは別にチームの練習着などが別に必要になると説明を聞いたので、また1から買い直しになると、経済的に無理なので子供にも部活動を辞めてもらわないといけなくなる…。**
- ・ 本格的に移行になった時、費用や負担の大きさがどれくらいのものになるか不安です。歳の離れた妹がいるため、地域移行がすすみ、負担の大きさによってはクラブ活動等諦めなければ

ばいけないのかなと考えています。

- ・ コーチや監督の月謝は、顧問が学校の先生の時と同様にかからないといいと思う。部活と同じくらいの費用でできるなら入れるがクラブチームのように月謝などが高いと入れない子が出てくると思う。
- ・ 学校の先生方の負担が軽減されるのは、とても良い事だと思います。ですが、地域移行する事によって、好きな事でも諦めざるを得ない子供がいる事も事実です。遠征費用や、通う為の交通費等、出せなければ諦めざるを得ないので…誰もが費用など、気にすることなくやれるようにして欲しい。
- ・ 生活が厳しく習い事ですら制限している子がたくさんいる現状をまず知って欲しい。学校での部活動は用具代程度の費用負担で済んでいたように思うが、地域に委託すると習い事のように毎月決まった金額がかかると思うと子供の意見だけ、やる気だけでは決められない。
- ・ 仕事があるので、どのくらい保護者の参加が必要なのか気になります。金銭的負担がどのくらいか気になります。内容によっては仕事が休めなかつたりして部活動を続けられない可能性がないか心配です。
- ・ 部活中必ず保護者が見守り当番が必要になる。土曜日だけでも負担なのに、日曜日や長期休みの時も必要になり、子どもたちは休みだが、保護者は仕事なので休めない。地域移行ではなく、先生から保護者移行だと思う。地域なら市や町が動き、運動役員にもお願いできたらと思う。1人親でそれぞれ子どもたちが別々の部活動にはいっていたら送迎等含めて無理です。
- ・ 地域移行の制度をよくわかっておりません。ただ、学校の先生方は労働時間が長く大変なのでご負担が減るなら良いことだと思います。ただ、学校の部活だから部費も月 1000 円程度で済んでいます。剣道部なので防具などは高く、費用がこれ以上嵩むことや子どもに負担になるものが大きくなるなら心配です。習い事はほかにさせてあげていないので好きなことは続けさせてあげたいです。
- ・ 保護者の関わりが多くなるのが不安だが、安全性などが心配なので、色々な点での監視が必要と感じます。
- ・ 保護者負担や金銭負担が大きくなりそう。一馬力で、親族などいないため、かわりの人がいないので、保護者として何かしにくいこと。
- ・ できるだけ現在のクラブ活動に近い形（自力での移動、最小限の活動費等）負担の少ないものであってほしいと思います。
- ・ 学校で行う部活動と、なるべく変わらないような仕組みにしてほしい。地域移行になり、活動費等がかかる場合は補助金等出してほしい。
- ・ 部活動は学校の教育の一貫であるから、先生の負担は多いかもしれないががんばってほしい。
- ・ やりたくてもできない子どもが増えてしまうのは残念。経済的にゆとりのない家庭の子どもは疎外感を感じ、周りの子どもとの格差を思い知らされた親は罪悪感しか残らない。
- ・ 部活動が地域移行することは良いかと思いますが、金銭的に余裕があるご家庭とそうでないご家庭の差が大きくなっていくのではないかと思います。金銭的な負担が重荷になる心配があります。
- ・ 保護者の負担が増えるようであれば、結局は子どもの体験格差に通じてくると思う。
- ・ 地域移行により、裕福な家庭は好きな部活を選択し、習わせる事が可能だと思いますが、部費や交通費、その他の費用と考えると、なかなか習わせてあげたくても、難しいです。
- ・ 地域のスポーツ団に参加できるのは、土日の試合に車で送迎できる、経済的に豊かな家庭が多いです。時間的貧困になりやすい、ひとり親家庭は大変です。部活動の遠征は少なくする、

保護者の見守りなくても参加できるようにするなどして、ひとり親家庭の子供が体験機会を奪われないようにしてほしいです。

- ・ 指導者が子供にとって安全な人物なのかわからず不安。
- ・ ただでさえ部活でかかる経費が多く困っているのに、地域以降したら経費がもっとかかり困る。また、学校の部活は先生が顧問をされていて安心感があるが、外部の人だと何かあってからの対処が困る。
- ・ 大会が減り、成績を残せないなので、高校進学へのスポーツ推薦が難しくなる。
- ・ 一部とはいえ、教職員の先生でさえ変な事件が増えている中、また様々な犯罪も増えている中で、移動が増えたり、暗い時間帯の帰宅が増えたりすることは、好ましいとは思えません。
- ・ 娘は車椅子を利用しており、私はひとり親なため仕事があるのでいつでも送迎可能な訳ではありません。そういったハンデを持つてる子ども学校であれば、自由にやりたい部活動ができるがそれが今後諦めざるを得ない可能性がある。
- ・ 部活動がなければ子どもたちの居場所がなくなり、塾などに行けない子はフラフラしてそれはそれで心配です。

➤ 部活動にかかる費用全般

- ・ 体験格差をなくすために、部活動に関わる費用も補助が出たら、子どもに部活動をさせてあげたいと思いますが、現状金銭的に無理なので、子どもには部活に入部しない選択をさせると思います。
- ・ 部費などが比較的に金額が安い部活動でないと、やらせてあげられない。
- ・ 娘が吹奏楽部ですが部費が月 1500 円、大会なども月 1~2 回あるので交通費もいるし、保護者みんなで差し入れなどもするので月 3000 円ほどいります。差し入れを我が家だけしない訳にもいかず、毎月の出費に困っています。
- ・ バasketボール部で熱心に取り組んでいます。子供が楽しみ、頑張るスポーツを、応援してあげたいです。部活動で無料ならまだ良いですが、別の練習を行ってくださる方に、毎回 200 円支払います。週に 4 回くらいあると月に 3000 円越です。負担が大きいです。子供を応援したい気持ちもあるので、複雑です。部活動もかなり減っているので、もっとスポーツをお金を払わず行える場があれば助かります。
- ・ サッカークラブに入っていますが、我が家だけ車がなくて送迎を頼んだり、交通機関を使って遠方の試合に参加しています。送迎してもらった際にお礼やお車代などもかかり苦労しています。また、高学年になり部費が高くなったことや、遠征費、合宿などが増えてかなり出費が増えて困っています。貯金を切り崩して費用を捻出していますが、皆と同じようにやりたいことをやらせてあげたいので、部活動に使えるお金の支援があったら本当に助かります。
- ・ 普通の部活でも部費が値上がりして困っている。また、バレーボール部ですが、サポーターなどの消耗品や靴も高いので経済的に厳しい。バレーボールの自主練習場所がなかなかないので、有料の施設を借りて仲間と割り勘してますが、そういう場所の提供元があれば嬉しいです。
- ・ 入部前に費用を知りたかった。入部してから費用がとても大きいことを知っても、活動ががんばっている子に辞めなさいとは言えない。
- ・ 部活の金銭的な支援を本当にして欲しい。切実に困ってます。
- ・ 部費によって子供が希望する部活動を変更させることがあるのでひとり親家庭に部活動に対する補助があれば良いと思う。
- ・ 部活にかかる費用は一律いくらまで、など上限を設定し、その半分は自治体や国などが負担してくれるなど、部費の均一化が導入されたらどの部活も子ども達は入りやすかったり、保

護者も応援しやすいかなと思う。

- ・ 就学援助費のように部活動費にかかった費用を後から請求して援助が受けられると助かります。
- ・ 市によって部活の費用を負担してくれるなどの差があるのはどうかと思う。そこも一律で支援してほしい。

➤ 道具やユニフォーム等の貸出や支給、購入補助

- ・ 部活で使用するバッシュなど高額のため支援があると嬉しいです！靴のサイズが年々大きくなり買い替えしないといけないと思うとついついインソールでどうにかしようとしてしまい、合っていない靴を購入し、長く履かせてしまっているのが現実のため、その時にあった靴を履かせてあげたいです。
- ・ 野球をしていたがお金がかかりすぎるのでバットとグラブの補助金など提供してもらえれば助かる。後1人親は好きなスポーツもろくにさせてやれないと思った。
- ・ 吹奏楽部に所属していますが、楽器の購入が出来ずにいます。全国的な支援やリサイクルなどで楽器が買えない子どもたちでも部活が出来るような環境作りをしてほしい。
- ・ 娘が中学の時に、器械体操部に入っていました。そうしたら、揃いのレオタードが必要と言われ、1万円を超える額を提示され、大変困りました。就学援助を受けていたので、それが支給されてから何とか支払いましたが、その他にも、揃いのTシャツなどの出費が痛かったです。お金がなるべくかからないような制度になって欲しいです。
- ・ 部活をさせたくても金銭的に余裕なくて、子供に我慢をさせている。ユニフォームや靴、部活に必要な物の支援を、ひとり親の子供にはやってほしいです。
- ・ ユニフォームなど、卒業した人からもらえる制度があったらよい。
- ・ 中2までは部活をしていましたが、やはりユニフォームや使用する道具にお金がかかり大変であった。仲の良いひとたちは、お下がりなどを譲りあっていたが、周りに知り合いがいないため、卒業お下がりなどを公にしてもらえるとありがたい。
- ・ 運動部のユニフォームなどは、貸し出しで対応してもらいたい。
- ・ 費用がかからないように用具のレンタルやユニフォームなどは自由に出来るようにすること。

➤ 交通費

- ・ 移動交通費はけっこう家計にひびきます。
- ・ 部活で毎週試合があり遠征の交通費の負担が困る。
- ・ 交通費がよくかかっていてそれも子供には言えないが負担である。
- ・ 部活動にかかる中学生の交通費の割引や免除などの制度があると有り難いです。現在も大会によっては、最寄駅から大会場所までのバスが無料の大会があったので、普及すると良いと思いました。
- ・ とにかく交通費がとんでもなく負担。毎月万単位です。なぜか、自校ではなく他校ばかりなので。交通費にお弁当持参で、部活動の出費が多い。毎週末必ず、部活（大会や練習試合、合同練習）があるので部活用品の消耗も早く、その買い替え等も負担がかかってます。
- ・ 住んでる地域では活動がないので、遠くに通わないといけない。費用がかかる。

➤ 送迎

- ・ 親の送迎ありきで運営される部活動は、負担が大きいし、我が家は車が持てないため、部活動は出来ない。
- ・ 送迎ができない日があり、親の都合の良い日しか部活動に参加させてあげられない。

- ・ 仕事で送迎が土日できないため、試合に連れて行けず、休ませてます。参加させたいが仕事があり、送迎ができない。
- ・ 急に移行したので、もっと早めに知らせて欲しかった。一旦帰宅して、子供だけで他校へ行くのや送迎して行くのは、ハードルがあがる。
- ・ 部活の送迎が大変です。子どもが4人いるので1人を遠方まで送迎すると他の子を留守番させる必要があったり、ガソリン代も高いので気になります。
- ・ 車があるのが当たり前だと思われる地域に住んでいるのですが、自家用車を持っていないため送迎が困難。できれば歩いて行ける地域でやれればと思う。
- ・ 送迎についてです。部活はほとんど学校で練習していますが、練習試合や大会になると地方なので会場が遠くなることが多いです。その中で送迎が難しい家庭もあり、その場合は乗り合いです。それに反対の家庭もありなかなかいい方法がなくお互い了解を得ていけば仕方がなく乗り合いで送迎しております。でも大会が三日間ある場合は三日間とその子を乗せて会場まで行かなきゃいけなくなり、負担がかかって大変なもの正直な気持ちでもあります。一度バスの手配をして行ったことがありますが、バス会社の人手不足もあり何ヶ月か前に予約しなきゃなく、バス代も結構かかり部費以外の出費にもなり結構きつかったです。
- ・ 部費が高くなっても遠征費や大会の送迎してくれるシステムがあれば、保護者は仕事に支障きたす事なく就労できると思います
- ・ 今まで自分の通う中学校でしてた活動が違う場所ですることになり、その時間に合わせ仕事など考慮しなきゃいけない事が大変に思う時がある。どうしても無理な時に送迎をしていただけの支援があれば、安心して仕事などできると思います。
- ・ 仕事があるため遠くまで迎えに行けません。地域移行の部活動はひとり親世帯には難しいと感じます。有料で良いので車での送迎があれば助かります。
- ・ 仕事で送迎が難しいので、スクールバスなどで無料送迎してもらえると助かります。土日仕事があるので、遠征などが毎週あると収入が減ってしまって困ります。
- ・ 田舎なので人数が少なく、きつと遠くなる。公共交通機関も限られるので、保護者の送迎が基本になると思うけど仕事時間を確保できなくなるのが心配。
- ・ 少子化の影響もあって子供の通う学校だけでなく近隣の学校が集まって合同で活動を行うところが多くなっている。そうするとその度あちこちへ車で送迎になる。車を所有していないと親の会に相談して保護者の誰かに毎回頭を下げてお礼しなきゃいけない。乗せる方に見れば自分の子供もよその子供の命を預かる事になり負担が大きい。自治体がマイクロバスを負担するとか活動費、遠征費の助成が必要だと思う。

➤ 保護者の運営への関わり

- ・ 以前サッカー部に所属していました。その時に親の当番がものすごく多いチームで、母子家庭でお手伝いなどする事が少し難しいことを以前伝えた事があります。しかし皆働いていたり大変と聞いてもらえず、最終的には退部することになりました。本当にそれに関しては子供にも申し訳なかったです。
- ・ 休みが不定期なので、部活動に伴う送迎や運営への関わりを行うのが難しい。保護者の負担軽減の支援があればいいと思います。
- ・ 保護者の手伝いが求められることが多く、仕事や介護で他の家庭同様に参加することが難しく、子供にも悲しい思いをさせてきた。
- ・ 保護者以外の見守りや支援体制があるといいと思います。
- ・ 親の送迎や親が積極的に関わらなければいけない状態はやめてほしい。片親にはきつすぎる。小さい兄弟がいるので尚更負担となる。

- ・ 子どもの見守りの負担が増えて困ってる。中には、会社を休んでいる人もいる。
- ・ 娘は小学生ですが、今から部活は諦めてもらう方向で動いています。金銭的にも厳しいのですが、親の引率や、見守りなどで親も参加型の部活が多い様です。

➤ **その他**

- ・ 高校生の子供が部活でスポーツをしています。ユニフォーム、遠征、合宿、消耗品で年間 20 万近くかかります。すごく頑張っているおかげで強豪校に入れましたが正直出費がかなりきついです。週末は大会だらけで早朝から手伝いや応援があり副業も難しい状況です。勉強の成績だけの奨学金以外にスポーツ奨学金などがあれば助かります。
- ・ 以前コーチのパワハラで部活を辞めた経験があります。どこに相談していいかわからず、結局辞めてしまった事があったので、そういう相談できる場所を明確にして欲しいです。
- ・ 地域移行はされていません、最初に用具を揃えた以外は交通費、お弁当の最低限の出費ですんでいます。顧問の先生は休み無く、大変だろうなと感じています。そもそも、部活の日数が多く、勉強時間、睡眠時間も削られ子供が大変だなと感じています。

以上